



## 朝の読書活動

東和中学校では、毎朝8時30～40分の10分間「朝の読書活動（通称：朝読）」を実施しています。次の4点を大切にしたいこの取組は今年で13年目となります。

- 1 みんなでやる・・・全員が同じ時間に同じ条件で取り組むことを基本としています。全員というのは、生徒だけではなく先生も含まれます。担任は教室で、副担任は廊下や生徒玄関等それぞれの場所で読み浸（ひた）ります。
- 2 毎日やる・・・一日たった10分でも、毎日続けることで身に付くもの、育つものがあります。行事のある日の朝も読みますので、いつでも読書の本は用意しておきます。
- 3 好きな本でよい・・・読む本を自分で選ぶことは、自己発見につながったり、主体性が育ったりします。文字を読むことを大切にしたいので、マンガや雑誌、図鑑等は避けます。図書室や学級図書、職員室前の図書も活用できます。
- 4 ただ読むだけ・・・読んでいるときの充実感を大切にします。いっさい話をせず、全員が無言で読み浸（ひた）ります。



毎朝、落ち着いたやわらかな空気に包まれ1日をスタートさせる朝読。結果として、読解力や想像力、語彙力の向上につながることもあるかもしれませんが、まずは、全員が読書を好きになるといいな、と思います。

## TOWA7

本校では、全教科で「TOWA7」という学習システムによる授業を行っています。日本の学校教育は、これまで長い間、先生を中心とした一斉伝達による知識の定着を図る授業を展開してきました。「テストで高得点を取ること」が大切にされてきたといえます。しかし、テストで高得点を取る知識を持っていても、人生における予測困難な諸課題を乗り越える「生きる力」があるとはいえ、新たな21世紀型の学習システムが求められるようになりました。困難な課題に粘り強く取り組み、一人で解決できないときは仲間とともに挑戦し乗り越えようとするのが、人生を「生き抜く力」となります。その力を育む21世紀型の学習システムとは、生徒を中心とした学び合い（個人の学びを生徒が互いに支え合う）を先生が支援する授業です。この学習では、「目の前に出された難しい問題を、正解にたどり着けるかどうかはともかく、粘り強く仲間とともに考え抜くこと」を大切にします。

だから本校では「TOWA7」なのです。3年間この学習システムで学んだ本校の生徒は、未来を「生き抜く力」を身につけ、巣立ってしていくこととなります。



『 TOWA 7 』  
～授業は静かなトーンで～

「、 仲間を支える言葉がけ 「どうしたの？」「しようよ！」は	「、 訊かれて初めて応えよう	「、 訊かれたらていねいに応えよう	「、 分らない時はグループの人に 「これ、どういうこと？」と訊こう	「、 まずは一人で考えよう	「、 机はぴったりくつつける （机の隙間は心の隙間）	「、 4人構成のグループになる （全員がより確かな力をつけるため）
--------------------------------------	-------------------	----------------------	---	------------------	----------------------------------	---

学習する全教室に掲示されている「TOWA7」